2026.9.20

大仙市アーカイブズ ニューズレター
第30号



アーカイブズのお仕事―地域史料の寄贈・寄託

寄贈・寄託手続きの流れ

※寄贈：資料とその所有権を寄贈先へ譲渡すること。
寄託：所有権は移さずに、資料の管理を寄託先に任せること。



①相談

家から古そうな資料が見つかった、寄贈・寄託したい資料があるなどのご相談を、随時受け付けています。



②現物確認

ご相談いただいた資料について、当館に持参いただいたものや現地調査で、現物確認をします。



③受入れ判断

資料の寄贈・寄託を受入れるか精査し、受入れない場合も、他に適切な機関等があればご紹介します。



④寄贈・寄託手続き

寄贈・寄託の意思を確認した後、お申込みをいただき、受領・承認書の発行をします。

寄贈・寄託後から公開まで



整理前の資料



整理・目録の作成



保存場所に配架



資料公開

第65回近世史サマーセミナー

８月８日（土）から１０日（月）に大仙市共催の「第６５回近世史サマーセミナー」が開催されました。この催しは例年夏、全国の日本近世史を専攻する若手研究者を中心に、様々な討論や交流が行われるものです。秋田県での開催は今回が３度目で、７５名が参加しました。

「秋田から問う　近世史料の保存、公開、普及」という討論テーマでは、当館職員も大仙市アーカイブズの役割やこれまでの取組みなどの報告をしました。

また、最終日には５３名が当館に来館し、館内を見学しました。

アーカイブズ講座「井上一郎が見た昭和の大曲」

木村伊兵衛生誕１２５年、井上一郎没後４０年という節目の年に合わせて、企画展「昭和の風景―木村伊兵衛・井上一郎二人展―」を開催しました。

展示期間中に行った本講座では、二人が目を向けた昭和２０年代から３０年代の大曲に焦点を当て、井上が記録として残した変わりゆく昭和の農村と、木村がリアリズムを求めていきついた「報道写真」の体現としての「秋田シリーズ」との接点から、二人が作品という形で切り取った当時の人びとが生きた「昭和」という時代について振り返りました。講座後には、展示の解説を実施しました。





日　時：令和８年７月15日（水）
　　午後１時30分～３時
場　所：大仙市アーカイブズ研修室
参加者：29名
講　師：アーカイブズ職員

古文書講座

今年度も地域の古文書の会と連携した共催事業として古文書講座を２回行いました。

第１回は８月２６日（水）に大曲図書館３階視聴覚室、第２回は９月１６日（水）に仙北ふれあい文化センター談話室で行い、講師には秋田大学教育文化学部の清水翔太郎准教授をお招きしました。３０名募集のところ第１回３２名、第２回３７名の応募があり、大盛況となりました。

講座では、当館が所蔵する西仙北地域強首地区の旧家、佐藤弥助家の古文書の中から孝行、博奕の禁制、堤の普請に関するものをテキストに、江戸時代の村の様子を学びました。

いぺんと瓦版

大仙市アーカイブズ開館10周年事業第１弾・プレ企画展
「近代大曲の文化人―田口松圃と秋田坊の時代―」
・期間：10月13日（火）～12月25日（金）
・場所：大仙市アーカイブズ　展示室２

第２回アーカイブズ講座
近代文化の芽吹きと大曲の人々
・日時：11月19日（木）午前10時30分～12時
・場所：はなび・アム２階　大研修室
・定員：20名
・申込：電話またはメール（申込期間11月１日（日）～１７日（火））

大仙市アーカイブズ　ニューズレター　第30号　　発行：大仙市　　発行日：令和8年9月20日

〒019-2335　秋田県大仙市強首字上野台１－２
電話/FAX 0187-77-2004　　E-mail：archives@city.daisen.lg.jp

